

1 題材名 わくわくとがっかり

2 授業のねらい

- ・「わくわく」(希望)や「がっかり」(失望)とは、どういう感情なのかを知る。
- ・「失望」を感じた時の対処の仕方が分かる。

3 本時の展開

| 時間 | 学習活動(教師の働きかけ・児童の反応) | 指導上の留意点 |
|----|---|--|
| 0 | ○ 様々な気持ちをふり返り、本時の学習内容を確認する。 | ・色々な感情があることに気付かせる。 |
| 5 | ○ 事例を「わくわく」と「がっかり」に分ける。 「わくわく」しますか。それとも「がっかり」しますか。 ・遊園地に行く時→わくわく ・試合に負けた時→がっかり | ・「わくわく」と「がっかり」の言葉を知らせる。 ・身近な場面を取り上げることで興味を引き出す。 |
| | ○ 2枚の写真から感情を読み取る。 「わくわく」や「がっかり」は、どこに表れていますか。 ・大きな目 ・笑顔 ・目が下向き ・口が下向き | ・2枚の写真を提示し、感情を示す表情を話し合う。 ・2つの表情の違いを対比させながら表情の特徴に気付かせる。 |
| 20 | ○ 2つの気持ちのロールプレイをする。 「わくわく」と「がっかり」を顔や体で表しましょう。 ・クラスに転校生が来る時 ・テストの点が悪かった時 「わくわく」は、そうなってほしいと期待する気持ちです。「がっかり」は期待が外れて残念な気持ちです。気持ちの違いは表情や身体からもわかります。 | ・教師がモデリングをする。 ・ロールプレイをする児童を選び表現させる。見ている児童は感情を当てる。 ・全員でもロールプレイを行う。 <input type="checkbox"/> 感情のラベリングができているか。 |
| 30 | ○ 「がっかり」した後の行動を考える。 リコーダーのテストがあります。Aさんは合格できるように練習しましたが、本番で失敗して不合格になりました。 Aさんはどんな気持ちですか。なぜそう思いましたか。また、Aさんはこの後どうすると思いますか。 ・悲しい ・練習したのに不合格だったので ・あきらめる ・当たり散らす ・もう一度練習する | ・身近な場면을提示する。 ・一人一人に付箋を配布し、自分が考える行動を書かせる。 <input type="checkbox"/> その後の行動を考えることができていますか。 |
| | ○ 予想した行動を前向きと前向きでない行動に分ける。 グループで話し合っ、前向きな行動と前向きでない行動に分けましょう。 ・あきらめる、当たり散らす→前向き ・教えてもらう、もっと練習する→前向きではない | ・2つの行動を例示し、分け方の基準を知らせる。 前向き…良い結果になる 前向きでない…悪い結果になる |
| 40 | ○ 今日の学習を振り返る。 | ・振り返りシートに感想を書く。 |